

2021 年度派遣 日本人大学院生奨学金 奨学生募集要項

2020年3月
(公財)経団連国際教育交流財団

経団連国際教育交流財団は、教育面における国際交流を通じて、わが国と諸外国との相互理解の促進に資することを目的に、1976年に設立された。

当財団では奨学事業の一環として、一般社団法人東京倶楽部の協力を得て、**将来、研究者として活躍することが期待される奨学生の募集**を行う。

1. 募集人員（海外の大学または大学院への留学生）

- (1) 経団連国際教育交流財団奨学生（専攻分野、留学先国ともに不問）： 1名
(2) 東京倶楽部奨学生（専攻分野不問。イギリスに留学する者）： 1名

※ 上記(1)、(2)ともに、以下の事項共通。(2)については、採用時に決定し、支給内容については経団連国際教育交流財団の規定に準ずる

2. 奨学金支給対象期間

留学を開始する2021年度中の新学期からの留学先大学(大学院)在学期間中
(2年間または1年間)

3. 奨学金支給内容

年間 350 万円を一律支給（使途は留学先の学費、生活費等、留学に関わる支出に限る）

4. 応募資格

- (1) 日本国民（外国籍を併せて有する者を除く）
(2) 応募時に財団の指定するわが国の大学院に在学し、2021年度中に留学を開始する者（研究生は応募不可）
(3) 2021年3月31日現在において在学期間が修士・博士両課程通算満5年以内の者
(4) 学業、人物ともに優秀であって、**広く社会に貢献し、将来、研究者として活躍する意志を持つ者**
(5) 健康状態が良好な者
(6) 海外の大学または大学院に1年以上留学した経験がない者
(7) 他の給付型奨学金を受ける予定がない者（併願は可）
(8) 留学先の公用語による意思伝達が十分可能な者
(9) 語学レベルが基準以上の者
➤ 英語圏へ留学希望の場合、TOEFLの成績がiBT 92点(PBT 580点)以上もしくはIELTSの成績が6.5以上であること

- 英語圏以外への留学希望者で、当該国の公用語を主に研究に使用する場合、ZD(ドイツ語)、DAPF(フランス語)等の主要な語学検定試験をあらかじめ受験していること
- 英語圏以外への留学希望者で研究に使用する言語が英語の場合は、英語圏へ留学希望の場合に準ずる(この場合、研究に英語を使用することを証明する資料を添付のこと)
- 語学検定試験のない言語を研究に使用する場合は、その言語の語学力を客観的に証明する書類を提出できること

5. 応募書類の提出(応募者全員分を大学でとりまとめてお送りください)

- (1) 提出書類：選考に際し、選考委員等関係者に応募書類のコピーを配布します

* 語学検定試験成績証明書等、日本語または英語以外の書類には全て和訳を添付すること

a. 願書

①別紙様式。上部に5×4cmの上半身・脱帽・3カ月以内に撮影の写真貼付。

日本語(A4判2枚)および英語(A4判1枚) 各1部

②電子メールのアドレスについては、通常24時間以内に連絡がとれるものに限る。

③学歴・職歴欄については、卒業した高校以降の全てを記載すること(学歴・職歴の区別なく、最新の状況から記載する)。行数が不足する場合には、書ききれない内容を別紙(ワープロ打ち)で提出すること。備考欄には、中退・退学・転入等の別や退職の理由について記載すること。

④健康状態について、既往症がある場合には、主治医から、留学の適否について記載のある診断書を取り寄せ添付すること。

b. ①学長または研究科長の推薦状 と ②指導教員の推薦状

日本語もしくは英語(指導教員が外国人の場合など)

(A4判片面、各2枚以内) 各1部

c. 大学および大学院における学業成績証明書

日本語(学部から現在までの成績を全て含めること)

各1部

d. 2018年9月以降受験の語学検定試験成績証明書または語学力証明書

* A4判片面に揃えること

* TOEFL、IELTSの場合は、顔写真入りの成績証明書を表面・裏面各々片面コピーすること

e. 研究内容の概要

日本語と留学先での研究に使用する言語

(A4判片面、各2枚以内、カラー不可)

各1部

* 専攻しているテーマおよび留学先で専攻しようとするテーマについて簡潔にまとめること

* 1枚目に応募者の大学・大学院名、氏名を明記すること

(2) **応募受付期間：2020年8月24日(月)～9月11日(金) 必着**

* 配達の記録を確認できる方法でお送りください

(3) **応募書類送付先：**

(公財)経団連国際教育交流財団

〒100-8188 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連SDGs本部 内

TEL 03-6741-0162 (財団事務局直通)

6. 選考方法

(1) 第一次選考：書類選考

(2) 第二次選考：日本語と留学先での研究に使用する言語による面接

- 面接の時期は2020年11月(予定) 於 経団連会館(東京・大手町)
- 集合時間等詳細は、第一次選考通過者に直接、電子メールで連絡する

7. 選考結果の通知

選考結果は大学、応募者双方に通知する

8. その他

(1) 応募書類は返却しない

(2) 留学を希望する大学(大学院)への出願は応募者が各自で行うこと

(3) 奨学生に採用された者が応募資格を満たさなくなった場合および大学(大学院)への入学を許可されなかった場合には奨学生としての資格を失う

《参考》 奨学生の留学先と研究テーマ(2010年度以降)

	経団連国際教育交流財団奨学生	東京倶楽部奨学生 (全てイギリス)
2010年度	<p>テヘラン大学(イラン) 「近代テヘランにおけるシーア派ウラマー(イスラーム法学者)に関する社会史的研究」</p> <p>ジュネーヴ大学(スイス) 「アフリカ人権憲章の実効性確保に関する研究」</p> <p>ヴァージニア大学(アメリカ) 「多国間環境条約の柔軟な義務の運用における環境法原則の機能」</p>	<p>ケンブリッジ大学 「高精度乱流燃焼モデルの開発及び亜音速・超音速対流を伴う乱流燃焼の燃焼特性の解明」</p>
2011年度	<p>ボローニャ大学(イタリア) 「イタリア舞台芸術における空間演出」</p> <p>タフツ大学(アメリカ) 「関節軟骨再生医療のための培養担体設計」</p>	<p>—————</p>
2012年度	<p>パリ第12大学(フランス) 「近世フランスにおける外国人—18世紀ブリテン諸島出身者の事例から—」</p>	<p>オックスフォード大学 「イスラーム地域における中世(11~14世紀)の人工胎土陶器の研究」</p>
2013年度	<p>トリブヴァン大学ネパール・アジア研究所(ネパール) 「ネパール農民カーストにおける神仏の形成—ネパール・カトマンズを事例に—」</p>	<p>ロンドン大学インスティテュート・オブ・エデュケーション 「イサム・ノグチの20世紀半ばの作品群にみる異文化の表象」</p>
2014年度	<p>ソフィア大学(ブルガリア) 「ルーマニアのブルガリア語方言における目的語接語重複—言語接触と文法化の観点から—」</p>	<p>ロンドン大学キングス・カレッジ 「1580年代英国における重層的イタリア受容ブーム」</p>
2015年度	<p>ボアジチ大学(トルコ) 「近代オスマン帝国における都市行政と公衆衛生」</p>	<p>エセックス大学 「新興民主主義国における軍事クーデターに関する数理分析」</p>
2016年度	<p>ミズーリ大学コロンビア校(アメリカ) 「新興民主主義国における抗議行動の活発化—ブラジルの事例から—」</p>	<p>バーミンガム大学 「シェイクスピア戯曲における沈黙と墓碑銘の考察」</p>
2017年度	<p>スタンフォード大学(アメリカ) 「資源の呪い」前史：「国家以前の石油」による独立とその効果</p>	<p>ロンドン大学キングス・カレッジ 「核四極共鳴による地雷探知機の開発」</p>
2018年度	<p>カイロアメリカン大学(エジプト) 「近代エジプトにおける政治と宗教」</p>	<p>ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス 「報酬比率の倫理：巨額の基準の検討」</p>
2019年度	<p>ボン大学(ドイツ) 「オットー朝期ドイツ、北イタリアにおける立法活動」</p>	<p>—————</p>
2020年度 ※	<p>カリフォルニア大学パークレー校(アメリカ) 「証拠に基づく政策形成の効果の分析」</p>	<p>デ・モントフォード大学 「1960年代以降のヨーロッパ現代バレエにおける群舞の変容：難民表象の起源をめぐって」</p>

※留学先と研究テーマは第二次選考合格者のもの。留学先等は予定

以上